

『改訂 6 版 分析化学データブック』 正誤訂正

本書の記述に間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

< 1 刷 > 行数の↓は上から, ↑は下から数える。

ページ・行	誤	正
p.55 3・3・2「水酸化物沈殿」 の表(最終行)	水酸化物結晶が析出する pH(モノヒドロキソ錯体のみの生成を考慮したおおよその値) Zr^{4+}	Zr^{4+}

(2024.02.21 更新)

本書の記述において正確には適切な表現ではない箇所がございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

< 1 刷 > 行数の↓は上から, ↑は下から数える。

ページ・行	誤	正
p.155 12・1 「分光学的解析」 表中 FT-IR の 「試料の破壊」の欄	破壊	非破壊(試料によっては破壊)
	※ この記述は、測定ステージに載せる前の実試料からステージに載せるまでに前処理が必要というスタンスにたって、“破壊”の記載になっていました。サンプリングを行うという視点では破壊試験だと思いましたが、今回の図表では表面分析で赤外線を照射しただけですので、破壊は起きないため非破壊とも考えられます。そのため、赤外分光法は破壊というのは乱暴な言い方だったと思います。赤外分光法は必要に応じてサンプリングが必要とするのが一般的かと思しますので、上記のように「非破壊(試料によっては破壊)」または「非破壊(試料によってはサンプリング必要)」と記載するのが正確だったと思います。	

(2022.08.01 更新)